

桜町 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

使用教科書：（『公共』（実教出版））

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。

【学びに向かう力、人間性等】

国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	1-1-1 社会を作る私たち 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとする。	・指導事項 1. 生涯における青年期の意義 2. 自己形成の課題（1） 3. 自己形成の課題（2） 4. 職業生活と社会参加 5. 伝統・文化と私たち ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	5
	1-1-2 人間としてよく生きる 【知識及び技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	・指導事項 1. 古代ギリシアの人間観 2. 科学と人間 3. 自由の実現 4. 社会を作る人間 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査	1学期中間考査、考査返却		○	○		2

1 学 期	1-1-3 他者とともに生きる 【知識及び技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとする。	・指導事項 1. 人間と幸福 2. 公正な社会をめざして ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見出すことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	2
	1-1-4 民主社会の倫理 【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとする。	・指導事項 1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	2
	1-1-5 民主国家における基本原理 【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとする。	・指導事項 1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原則 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の主な政治制度 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査	1学期期末考査、考査返却		○	○		2

2 学 期	2-1-1 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 1. 日本国憲法の成立 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権の広がりや公共の福祉 8. 平和主義とわが国の安全 9. こんにちの防衛問題 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	2-1-2 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、司法参加の意義、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査	2学期中間考査、考査返却		○	○		2
	2-2-1 現代の経済社会 【知識及び技能】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容 3. 市場のしくみ 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済成長と国民の福祉 8. 金融の役割 9. 日本銀行の役割 10. 財政の役割と租税 11. 日本の財政の課題 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9

3 学 期	2-2-2 日本経済の特質と国民生活 【知識及び技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 1. 戦後日本経済の成長と課題 2. 転機に立つ日本経済 3. 経済社会の変化と中小企業 4. 農業と食料問題 5. 消費者問題 6. 公害の防止と環境保全 7. 労働問題と労働者の権利 8. 今日労働問題 9. 社会保障の役割 10. 社会保障制度の課題 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査	2学期期末考査、考査返却		○	○		2
	2-3-1 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 ・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 1. 国際社会と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. こんにちの国際政治 4. 人種・民族問題 5. 軍拡競争から軍縮へ 6. 国際平和と日本の役割 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、相互に対等なものとして尊重される主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割や領土が領空や領海を含むものであり、国民の基本的な生活を保障し資源を確保する領域であること、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国家主権、領土（領海、領空を含む。）、我が国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	2-3-2 国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. 地域的経済統合の進展 5. 国際経済のつながりと課題 6. 発展途上国の諸課題と日本の役割 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況やこれらの解決が地球的な課題であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4

3-1-1 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・指導事項 1. 社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、現実社会の諸課題を探究する。 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・第1部で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用するとともに、第1部及び第2部で習得した知識及び技能を活用している。 【思考・判断・表現】 ・地域の創造、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、ともに生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
定期考査	学年末考査、考査返却		○	○		1
						合計
						70

- ・現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考
- ・地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1部 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 1章 地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】 ・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 ・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 1節 地球儀と地図 1 地球上の位置と地上の現象 2 経度の違いと時差 3 球体と平面の世界 2節 地図と地理情報システム 1 地図の種類 2 地理情報システムの利用 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 ・地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	4
	2章 結びつきを深める現代世界 【知識及び技能】 ・世界を構成する国家の領域の定め方や、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解する。 ・国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 1節 現代世界の国家と領域 1 国家の領域と国境 2 地図から見る日本の位置と領域 2節 地図から見る国内や国家間の結びつき 1 グローバル化と多様な結びつき 2 拡大する貿易 3 世界を結ぶ交通・通信 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・世界を構成する国家の領域の定め方、地図を通して世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴を理解している。 ・国家の領域や世界の国々の結びつき、交通、通信、人の移動の特徴を見いだすための、読図の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・国家の領域はどのように定められており、どのような領土問題があるのかや、世界の国々はどのように結びついており、どのような交通、通信、人の移動の特徴があるのかについて、地図を通して多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国家の領域の定め方や領土問題、世界の国々の結びつき方、交通、通信、人の移動の特徴について、地図を通して主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	5
	定期考査	1学期中間考査、考査返却		○	○		2
	2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 ・世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 序説 生活文化の多様性 1 生活文化を考察する視点 1節 世界の地形と人々の生活 1 生活と地形の関わり 2 河川がつくる地形と人々の生活 3 海岸の地形と人々の生活 4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 1 生活と気候の関わり 2 熱帯の気候と人々の生活 3 乾燥帯の気候と人々の生活 4 温帯の気候と人々の生活 5 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 3節 世界の産業と人々の生活 1 生活を支える農業の発展 2 生活を支える工業の発展 4節 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 1 宗教・民族・言語の多様性 5節 多様な生活文化と地理的環境	【知識・技能】 ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 ・世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	14

		1 国際理解を深めるために 2 世界からみた日本の生活文化 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等					
	定期考査	1学期期末考査、考査返却		○	○		2
2 学 期	2部 国際理解と国際協力 1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 ・世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 事例1 産業① 経済発展による生活文化の変化 -東アジア- 事例2 結びつき① 他地域との結びつきが生活文化に与えてきた影響 -東南アジア- 事例3 宗教・歴史① ヒンドゥー教と生活文化の関わり -インド- 事例4 自然環境① 乾燥地域で育まれてきた生活文化の変化 -中央アジア・西アジア・北アフリカ- 事例5 宗教・歴史② 植民地支配の歴史と生活文化の変化 -サハラ以南アフリカ- 事例6 宗教・歴史③ 伝統の継承と生活文化の関わり -ヨーロッパ- 事例7 自然環境② 寒冷な気候と生活文化にみられる工夫 -ロシア- 事例8 産業② 産業技術の発展と生活文化の関わり -アメリカ合衆国- 事例9 宗教・歴史④ 開発の歴史と生活文化の関わり -ラテンアメリカ- 事例10 結びつき② 結びつきの変化がもたらす生活文化への影響 -オセアニア- ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【【知識・技能】】 ・世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 ・世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	13
	定期考査	2学期中間考査、考査返却		○	○		2
	2章 地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 ・地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解する。 ・地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 序説 複雑に絡み合う地球的課題 1 地球的課題と解決に向けた目標 1節 人口問題 1 人口の増加と少子化・高齢化 2 地域で異なる人口問題と取り組み 2節 食料問題 1 飢餓と飽食 3節 都市・居住問題 1 都市への人口集中 2 地域で異なる都市・居住問題と取り組み 4節 感染症・衛生問題 1 広がる感染症と衛生問題 5節 資源・エネルギー問題 1 限りある資源・エネルギー 2 地域で異なる資源・エネルギー問題と取り組み 6節 地球環境問題 1 国境を越えて広がる地球環境問題 2 地球温暖化と国際的な取り組み ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを理解している。 ・地球的課題が生じている場所や要因、課題どうしが相互に関係し合っていることを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・地球的課題がどこで、どのように生じているのかや、解決のためにどのような取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・持続可能な開発を実現するために必要な取り組みや国際協力のあり方について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	11
	定期考査	2学期期末考査、考査返却		○	○		2
	3部 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 【知識及び技能】 ・自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解する。 ・自然災害が生じる場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1節 日本の自然環境 1 日本の自然環境と人々の生活 2節 地震・津波や火山活動による災害と防災 1 地震・津波のしくみと被害 2 地震・津波災害と地域の取り組み 3 火山の恵みと噴火による被害 4 火山災害と地域の取り組み 5 地震・津波や火山活動への対策と共生の道 3節 気象災害と防災 1 さまざまな気象災害 2 気象災害と地域の取り組み 3 気象災害への対策と備え 4節 自然災害への備え 1 被災への取り組みと被災地への支	【知識・技能】 ・自然災害が生じる場所と要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを理解している。 ・自然災害の発生場所や要因、日本の自然災害の特徴、生活のなかにみられる防災・減災への取り組みを見いだすための、地理的見方・考え方を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・どのような自然災害がどのような場所で生じるのかや、日本の自然災害にはどのような特徴があるのか、どのような防災・減災への取り組みがなされているのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10

3 学 期	【学習に向かう力、人間性等】 ・自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	4 被災・避難先・避難先・被災地・避難先 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然環境には災害と恩恵の両側面があり、人々が生活していくうえで必要な防災・減災に向けた備えについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。				
	2章 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 ・生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解する。 ・生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	・指導事項 1 地理的な調査テーマの設定 2 事前調査と現地調査 3 調査結果の分析と仮説の検証 4 調査結果のまとめと地域づくりへの参画 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたを理解している。 ・生活圏の調査にあたって、仮説の立て方や調査結果の検証の方法、発表のしかたについての技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・事前調査の結果からどのような仮説が立てられるのかや、現地調査の結果をどのように分析・整理するのか、他の事例との比較からどのようなことがいえるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活圏の調査の結果を地域に還元し、よりよい社会を築いていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	4
	定期考査	学年末考査、考査返却		○	○		1
							合計 70

桜町 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

歴史総合 科目 歴史総合

教科：歴史総合

科目：歴史総合

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組

使用教科書：（『歴史総合』（第一学習社））

教科 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代

・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 歴史の扉 【知識及び技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 ・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 ①歴史と私たち ②歴史の特質と資料 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	4
	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 【知識及び技能】 ・18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・工業化と世界市場の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 産業革命と市民革命 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ・工業化と世界市場の形成を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査	1学期中間考査、考査返却		○	○		2
	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 【知識及び技能】 ・立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・指導事項 第3節 イギリスの繁栄と国民国家の拡大 第4節 アジア諸国の変貌と日本の開国 第5節 帝国主義の発展 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・立憲体制と国民国家の形成を理解している。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。				

	【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。					20	
定期考査	1学期期末考査、考査返却		○	○		2	
2 学 期	第2部 近現代の世界と日本 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争を理解する。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 第5節 帝国主義の発展 国際秩序の変化や大衆化への問い 第1節 第一次世界大戦と大衆社会 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争を理解している。 ・列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。 ・総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	20
	定期考査	2学期中間考査、考査返却		○	○		2
	第2部 近現代の世界と日本 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 ・大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	・指導事項 第1節 第一次世界大戦と大衆社会 第2節 経済危機と第二次世界大戦 第3節 第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 ・国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	18
定期考査	2学期期末考査、考査返却		○	○		2	
2 学 期	第2部 近現代の世界と日本 第3章 グローバル化と私たち 【知識及び技能】 ・国際政治の変容を理解する。 ・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。	・指導事項 第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭 第2節 国際秩序の変容と21世紀の世界 ・教材 自校作成プリント、ノート、ICT機器、コンテンツ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・国際政治の変容を理解している。 ・世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	18
	定期考査	2学期期末考査、考査返却		○	○		2
	定期考査	2学期期末考査、考査返却		○	○		2

3 学 期	・冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。		【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。				
	【学びに向かう力、人間性等】 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。						
	定期考査	学年末考査、考査返却		○	○		2
							合計
							105

対象学年組：第4学年 A組
使用教科書：（1日1話、読めば心が熱くなる365人の仕事の教科書）

教科 社会探究 の目標：
【知識及び技能】 自己の生き方、キャリアについて、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、探究の意義や価値を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、情報収集したことを整理・分析してまとめ、発表する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】 課題研究に主体的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、実社会や実生活に役立てようとする態度を養う。

科目 社会探究	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
自己の生き方、キャリアについて、課題の発見と解決に必要な知識・技能を身につけ、探究の意義や価値を理解する。	実社会や実生活と自己の関わりから問いを見だし、情報収集したことを整理・分析してまとめ、発表する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】	課題研究に主体的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら、新たな価値を創造し、実社会や実生活に役立てようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A オリエンテーション	・1年間の学習内容について説	【知識・技能】	○	○	○	1
	B 探究活動	・ワークシート等の活動を通じ	【知識・技能】	○	○	○	6
	定期考査	1学期中間考査、考査返却		○	○		2
	C 探究活動	・ワークシート等の活動を通じ	【知識・技能】	○	○	○	8
	定期考査	1学期期末考査、考査返却		○	○		2
2 学期	D 中間報告書の作成 【知識及び技能】	・文化祭に向けた展示として、今 まで学んだことをまとめる。	【知識・技能】 書くべき内容とポイントについて理解するこ	○	○	○	4
	E 探究活動	・ワークシート等の活動を通じ	【知識・技能】	○	○	○	11
	定期考査	2学期中間考査、考査返却		○	○		2
	F 探究活動	・ワークシート等の活動を通じ	【知識・技能】	○	○	○	14
	定期考査	2学期期末考査、考査返却		○	○		2
3 学期	G 探究活動	・ワークシート等の活動を通じ	【知識・技能】	○	○	○	3
	H 探究成果発表	・授業内発表会	【知識・技能】	○	○	○	3
	定期考査	学年末考査、考査返却		○	○		2
							合計 60